

# 標十五句

松岡隆子選

選を賜る嬉しさを涼しさに  
飛ぶときの鳥の細身や日の盛  
ひとりとはふたりのかけら夏の月  
夜濯のマスクを星に吊しけり  
夫ありし日のごと盆の厨ごと  
晴れの日は晴れの色して七変化  
誰も来ぬといふ涼しさのありにけり  
改札を出て夕虹に間に合ひし  
紫陽花に日ごとの機嫌あるらしき  
一片の詩さながらに薔薇開く  
睡蓮や水面をたたき雨上がる  
良きことをほたるぶくろに仕舞ひおく  
山川の瀬音に和して河鹿笛  
水茄子を食めば父母ゐし頃を  
空蟬の眼が朝日反しけり

唐木和世  
峰岸よし子  
染谷晴子  
相馬晃一  
鈴木綾  
中嶋孝子  
佐藤郭子  
松原ふみ子  
別府優  
高橋愛子  
福島三枝子  
平沢千恵子  
早川紀子  
細野栄美子  
今井裕子